

水道水は魔法の水
 新宿区立西早稲田中学校二年三組
 秋永橘香

小学生だった頃、家の近くで転び、擦り傷
 ができた時のことだ。薬箱から消毒薬を取り
 出し、傷口にかけようとして、母から
 「水道水できれいに洗うだけでいいよ」と言
 われ、消毒を止めた。ばい菌が入ったらどう
 しよう。「痛い。しめる。」と思いつつ、水
 道水で傷口を洗い流した。

水道水？薬で消毒した方がばい菌が減ると
 思うけど。母に尋ねた。

傷口には、ごみやばい菌があるかもしれな
 いので、洗い流す必要がある。水道水はとて
 も衛生的で、ごみだけでなく、ばい菌も洗
 い流せるので、消毒液よりも水道水が良いと
 のことだった。

水道水は、飲用、お風呂、洗濯等に使うも
 のだと思っていたが、とても衛生的なので、
 けがの手当てにも使える。東京の水道水は衛
 生的で素晴らしいものだと知った瞬間だ。

調べてみると、都は独自に「あんぜん・あんしん水質指標」を設け、国で定める水道水質安全基準に加え、放射線物質、農薬類不検出率、総トリハロメタン目標達成率等について都内百三十一か所の蛇口の水質を評価している。なお、住所を入力するだけで最寄りの蛇口の水質検査の結果が分かる機能付きだ。

試しに自宅の住所を入力すると、給水栓番号…二十六、検査地点…新宿区△△、朝霞浄水場、詳細な水質検査の結果が確認できた。

自分が飲んでいる水の評価が容易に見られることはとても素晴らしいことだと思う。

また、都は「おいしさに関する水質目標」を設け、水のおいしさも管理している。

何年にも及ぶ実験を積み重ね、オゾンの酸化力と生物活性炭の吸着機能を活用したシステムを構築し、微量のトリハロメタン、二オキソ、有機物まで除去したおいしい水を作っているのだ。

一方、水道水のイメージはどうだろうか。

令和五年度東京の水道に関するお客様意識調査報告書によると、水道水をそのまま飲む人の割合は、五割にも満たない。

そのまま飲まない理由は、飲む習慣がない。安全性に不安がある。味がおいしくない。が大部分を占める。年齢別には、若い世代ほど水道水をそのまま飲まない割合が高い。

テレビやインターネットでは水道水は安全ではない・おいしくない。という情報が多い。私たちは、小さな頃からこの様な情報に触れ

ているため、水道水を無意識のうちにものだと思っ込んでいのではないかと思う。まっ、水道水について、正しい知識があれば、違った結果になるはずだ。水道水に限ったことではないが、正しい情報をもとに評価すべきだ。また、行政が提供する情報には関心を示さず、インターネットの情報を妄信することは改めるべきだ。

そう考えると、水道水に対して理解することなく、ミネラルウォーターを自動販売機で

買っていた自分が少しはずかしく思えた。

水道は、日本の発展を支えてきたが、今日の
のような世界に誇れる水道ができるまでは、
血がにじむような努力があつたことを、東京
近代水道百二十五年史を読んで知つた。
昭和三十三年のわずが五年間に百六十
五万人もの爆発的な人口増加があり、慢性的
な水不足が発生していった。

東京オリンピックが迫る昭和三十八年三月
十九年には、「東京サバクル」と呼ばれた湯水
に見舞われ、開会式まで刻一刻と時間が過ぎ
る中、ダムの貯水量も減り続け、取水制限も
強化されていった。

都は、戦後の復興のシンボルであるオリン
ピックに水不足で水を差さないよう、利根川
・荒川からの取水を実現するために懸命に努
力を続けた。その熱意は国や公団を動かし、
導水が実現した。その結果、水不足の心配な
く、オリンピックの開会式を迎えられたとい
う感動の事実があつたのだ。

群馬県にスキーに行つた時、いくつも大きなダムがあつたことを思い出した。東京の水は、遠く離れて利根川の上流の人達や森の力も借りてゐる。つまり、多くの人たちの努力の積み重ねと水源地域の人達の協力によつて、自由に水が使入るのだ。

これからも、東京が我が国の首都として機能し、発展を続けるためには、水道水の安定的な確保は不可欠だ。

将来にわたつて、この素晴らしい水道を持つこと、水道を利用するためには、水道を利用する人が、水道への正しい知識を持つこと、水道水のためになんかしていただけてゐる多くの人への感謝の気持ちを持つことが必要だ。

その上で、水道のために何ができるか自らが考え、行動に移して行く。

私は、第一歩として、無駄な水を使わない。汚い水を流さない。水管には水道水を入れる。家族や友達にも協力してもらおう。これからのことを実践していくつもりだ。